

科目名		解剖学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		前期	必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

作業療法にとって、骨や筋などの運動器の理解は非常に重要になる。身体各部位の運動器についてその構造をしり、それが意味する事や機能を理解し、今後の作業療法学専門領域の学習の基礎を築く。

〔授業全体の内容の概要〕

講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。

〔講師の実務経験〕

緑ヶ丘病院,大阪市社会福祉協議会,中央訪問看護ステーションで作業療法士として勤務

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

全身の運動器系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	上肢の解剖(筋・関節・神経)①
3	上肢の解剖(筋・関節・神経)②
4	上肢の解剖(筋・関節・神経)③
5	上肢の解剖(筋・関節・神経)④
6	上肢の解剖(筋・関節・神経)⑤
7	上肢の解剖(筋・関節・神経)⑥
8	下肢の解剖(筋・関節・神経)①
9	下肢の解剖(筋・関節・神経)②
10	下肢の解剖(筋・関節・神経)③
11	下肢の解剖(筋・関節・神経)④
12	下肢の解剖(筋・関節・神経)⑤
13	下肢の解剖(筋・関節・神経)⑥
14	頭頸部～脊柱の解剖(筋・関節・神経)①
15	頭頸部～脊柱の解剖(筋・関節・神経)②
16	頭頸部～脊柱の解剖(筋・関節・神経)③
17	まとめ①
18	まとめ②
19	脳の解剖
20	〃
21	〃
22	脊髄の解剖
23	〃
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 解剖学	野村	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験 実技試験 小テスト